

黒崎南ふれあい協議会ニュース

第29号

ふれあいかわら版

しんぶん物語

—あわってほじまる校舎の記憶—

実施日：9月29・30日,10月6～8日

場 所：板井小学校校舎・グランド

新潟大学芸術環境講座では、現代の地域社会において、芸術の力を活かし多様なコミュニティの創造を目指しています。「アートクロッシングにいがた」という事業で、大学が主体となり、地域住民と行政が協力し合いながら企画運営を行い、今までも様々なプロジェクトを展開してきました。

今回のプロジェクトは、上記のタイトルで、秋に解体される板井小学校校舎が舞台となります。板井地区住民や校舎に寄せる地域住民の想いがアートを通してより多くの人々に発信され、校舎解体後も板井地区住民の地域活動の活性につながるように新潟大学芸術環境講座の人たちは考えています。大学と西区役所、板井自治会、黒崎南小学校、そして黒崎南ふれあい協議会教育文化部会が実行委員会となって今準備を行い①盆踊り②写真③学校に関連した作品の3つの企画を主軸として構成します。地域住民の皆様からこの事業を盛り上げて、事業成功につながるようご協力お願いいたします。

尚、裏面に、この事業の企画の一つとして「盆踊り練習」「ランドセルカバー作り」のチラシを作成しました。地域の皆様のご参加お待ちしております。

交通事故防止の街頭活動

去る8月3日(金)午後4時から新潟西交通安全協会黒崎南支部(支部長武田利秋)が、緒立温泉入口近くの県道で夏の交通事故防止の街頭活動を行いました。

当日は、西警察署交通課の警察官が流れくる車を誘導し停止させると、黒崎南支部の役員らが運転者に近づき「暑さで疲労がたまりやすく注意力も低下しております。こまめに休憩し、こまめにブレーキを」と安全運転を呼びかけました。

呼びかけに応じた運転者は、黒崎茶豆250g入りが贈られて、ニコニコしながら安全運転の励行を約束しておりました。

夏の交通事故防止の街頭活動は、居眠りや疲労運転の追放と安全運転の啓蒙を目的に今年で9回目の実施となりました。



街頭活動の様子

黒埼南 わくわく フェスタ

去る8月3日(金)黒埼南部公民館において黒埼南ふれあい協議会、黒埼南小学校、黒埼地区公民館が主催して夏休みの楽しい思い出となる「黒埼南わくわくフェスタ」を企画しました。

この企画に黒埼南小学校の児童70人と保護者と関係スタッフ20人が参集、次の企画で、にぎやかなフェスティバルとなりました。

<にんじんロケット実験>
にんじん中に入っている酵素をつかってどこまで高く打ち上げるかという実験です。フィルムケースに摺りおろしたにんじんとオキシドール(過酸化水素水)を混ぜ合わせてしっかりと蓋をして、少し待っているとフィルムケースが破裂して蓋が飛び出すという実験遊びです。

<シャボン玉あそび>
シャボン玉液に丸い輪っかを浸して取り出しながら大きささまざまなシャボン玉を飛ばすという遊びです。また、シャボン玉液と大きな輪っかの中に児童を立たせて持ち上げると色の良いシャボン玉の中に児童が入るといった遊びです。

<ソーメンながし>
メインイベントのソーメンながしは、スタッフが遠く村松の竹林から手に入れた本物の竹を使って、二つ割りにした竹樋に水を使って素麺を最上流側から最下流側に向けて流します。

復活！板井地区盆踊り

10月7日(日)
旧板井小学校グラウンドにて

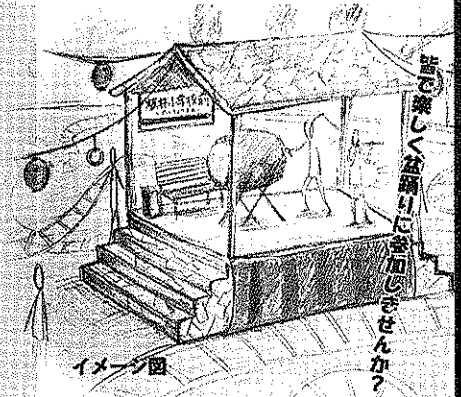
板井盆踊り
練習会開催！

日時：9月22日(土)
19:00～
場所：板井地区公民館集合

板井地区以外の方も
老若男女問わず大歓迎！
ご参加お待ちしております！

協力：板井地区 伝統芸能保存会

かつて行われていた板井盆踊りが復活します！
大勢の子どもたちが通った学び舎を舞台に、
みんなでやぐらを囲んで踊りましょう！



イメージ図

盆踊りに参加しませんか？

黒埼南小学校 まめっ子クラブ

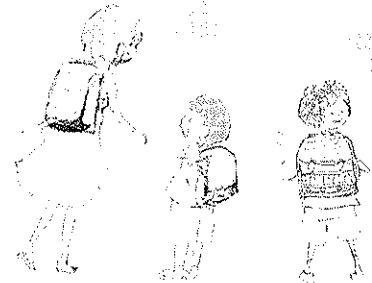
協賛：黒埼南ふれあい協議会 教育文化部
黒埼南小学校 まめっ子クラブ

黒埼オリジナルの ランドセルカバーをつくろう！

日時 >> 9月12日(水)15:00～
場所 >> 黒埼南小学校

みんなでカラフルに色をぬったりシートを貼ったりして、オリジナルランドセルカバーをつくります。できあがった作品は、旧板井小学校で秋に開催されるイベント「いてえもん物語～おわってはじまる校舎の記憶～」で展示を予定しています。

興味のある方は、ふるってご参加ください！



お問い合わせ：新潟大学芸術環境講座 富樫(090-1544-7480)



詳細はHPにて！

<http://www.ed.niigata-u.ac.jp/~bijyutsuka/itai/index.html>

児童たちはめんつゆと箸を持って今か今かと待ちかまえます。素麺がながれてくると箸で捕まえて口一杯ほおぼって胃袋に流し込みます。

食欲旺盛な児童たちは満足感にあふれておりました。ほのぼのとした光景は見ているだけでも楽しいもので、このたびの企画は夏の風物詩として定着しそうです。



ソーメンながしの様子